

でんでんくん



あふみ先生



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん

発行：きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）

今年度のセンター的機能の取組について

本校は、全県の難聴の子どもたちを対象に、ニーズに応じた支援を行っております。今年度もたくさんの子どもたちや先生方にご利用いただき、ありがとうございました。

昨年度から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインによる相談支援が始まりました。直接会っての対面、オンラインそれぞれの良さを生かした支援を、担任の先生と相談・確認しながら進めてまいりました。

また、例年に比べ少人数ではありましたが、児童・保護者の方の出会いと仲間づくり、先生方の情報交換の場として、地区別交流会を実施しました。

次年度のセンター的機能のご案内も送付しております。必要に応じてどうぞお声掛けください。

難聴理解学習	15校
職員研修	8校
地区別交流会（中央・南）	10人（児童）
サテライト教室（北・南）	14人
定期教育相談	18人

令和5年2月末現在 実施・利用数



難聴理解学習



南の交流会



中央地区交流会

センター的機能の実践紹介1 「職員研修」

職員研修は、学校職員がきこえない、きこえにくいことを理解するだけでなく、難聴児童生徒に対する適切な関わり方のモデルを示すことに役立ちます。そして、そのことが難聴児童生徒とその周囲の児童生徒がより関わり方をしていくことにつながっていきます。

ここでは、難聴児童が入学後、毎年継続して4月に職員研修を行っている小学校の難聴学級担任の感想を紹介します。

毎年、異動で新たにいられた先生方にもきこえにくさのある児童に適切な関わり方をしてもらうために、年度初めに研修を計画しています。複数回受ける職員にとっても、支援方法の確認や自分の対応を振り返ることのできる貴重な機会になっています。全職員で対応方法が共有できるというのもよいと感じます。（難聴学級担任）



センター的機能の実践紹介2 「難聴理解学習」

今年度、難聴理解学習を実施した学校に、学習後の様子を伺いました。この学習をきっかけに、実施校の先生方が事後学習を行い、日々の生活に生かしたことで、子どもたちにも変化が見られるようです。(事後アンケートより)

補聴器を通した聞こえに関心を示し、「大きい声だとうるさいよ」と声を掛ける子が出てくるなど、配慮しようとする子が増えました。(能代市 ○小学校)



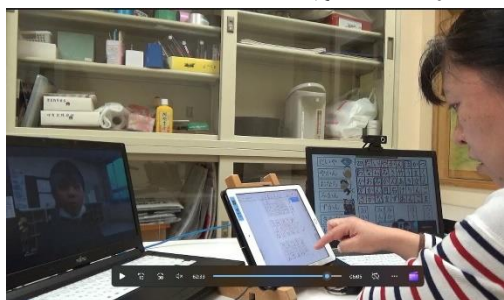
子どもたち同士で授業のことを思い出し、話を聞くときは私語をしないように声を掛け合う姿が見られるようになりました。(秋田市 ○小学校)

本人たちは、友達みんなから「何度も聞き返してもいいよ」と言ってもらったことで、本当に安心したと話しています。(秋田市 ○小学校)



センター的機能の実践紹介3 「オンライン教育相談」

小学生の教育相談：在籍校で使用しているMetaMoji Classroomで行いました。



「すぐに先生が丸付けしてくれたので、会っているときと同じくできました。」(児童の感想)

中学生の教育相談：UDトークを使って音声を手書き字幕に変えてやりとりをしました。



「たまに聞こえにくい時があっても、字幕で確認できたので安心でした。」(生徒の感想)

お知らせ サテライト教室、教育相談(定期)について

継続利用をご希望される場合は、保護者と相談の上、申込書の早めの提出をお願いします。施設の予約等の都合上、4月7日(金)を申し込み締切にしております。初めて利用を検討される方は、電話等でご相談していただいてもかまいません。「詳細について聞きたい」、その他、ご不明な点がありましたら、下記までご連絡をお願いします。

きこえとことば支援センター(秋田県立聴覚支援学校内)【直通携帯電話】090-8784-6302
【聴覚支援学校】〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号 TEL: 018-889-8572
FAX: 018-889-8575 E-mail: chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp